

さくらがわ

市議会
だより



令和8年2月1日
(2026年)



当市ホームページの
市議会情報ページへ
アクセスできます。



令和7年第4回定例会

一般議案についての審議
傍聴のご案内 2P

7名の一般質問 3~6P

視察研修レポート
「総務常任委員会」 7P

長生郡市広域市町村圏
組合議会視察来庁
岩瀬小町たんけん・編集後記 8P



亀熊大橋
桜川市真壁町亀熊

石灯籠の欄干が印象的な橋。
下流では治水のための護岸工事が
進められている。

一般議案に対する 議案審議

令和7年第4回定例会は12月9日から12日まで開催され、多岐にわたり審議が行われました。その中から、主な質疑を掲載します。



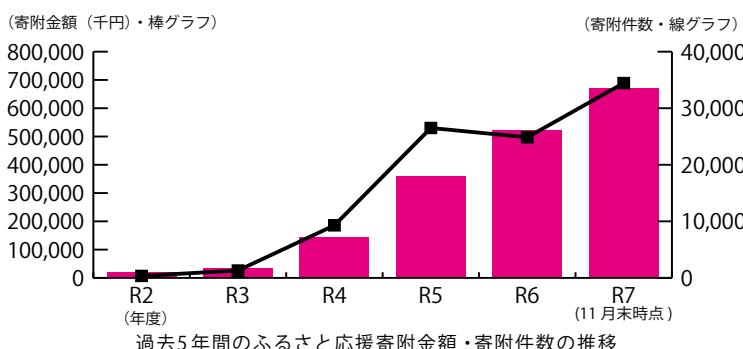
利用者の方々から助成券拡充のご要望があること、年度末に駆け込み的な利用が発生していること、助成券の不正利用の可能性が監査で指摘されていることなどを踏まえ、令和8年度から事業の一部見直しを行う予定です。

申込者数は、令和6年度で1,777名であったのにに対し、令和7年度は11月末で2,250名と増加しており、それに伴い支出も増額しております。

タクシー運賃助成券の増額理由の詳細と、助成券利用方法の課題について伺う。

タクシー運賃助成事業

ふるさと応援基金積立金増額補正について



11月末現在の寄附額が6億7,100万円を超えていることから、年度末寄附額を8億円と見込んでいます。

ふるさと応援基金積立金増額補正について

桜川市議会を傍聴してみませんか？

市議会では、市民の皆さん的生活に直結した重要な問題が審議されます。市政を身近に知るためにも、ぜひ議会を傍聴してみませんか。

受付場所：市役所岩瀬庁舎 第2庁舎3階

【受付手順】

- ① 傍聴券（首掛け）を受け取る
- ② 傍聴人受付シートを記載し、回収箱に入れる
- ③ 傍聴券を首から下げて、傍聴席へ
- ④ 退場時、傍聴券を返却する



◀傍聴席からの眺め



◀傍聴券・受付シート

企業誘致について



武井久司 議員

実績は有りません。市では、産業及び雇用促進に関する条例に基づき、対象事業所に奨励金の優遇措置を行っています。

今後も地域経済牽引事業の促進による地区基本計画及び産業立地、雇用促進に関する条例奨励金を、多くの企業に利用して頂けるよう周知をしていきます。

機械による経営が進むと予想されるので、農道の拡幅、改良工事及び退避場所の設置を進めています。

また、行政サービスの効率化を目的とした施設の改編を前提として、集約化が図られて

いきます。集約された

公共施設エリア周辺の

道路整備には、莫大な

費用と膨大な時間がか

かるので、既存の幹線道路などを活用した道

路整備を進めていきます。

答 建設部長 市道は総延長1,505km、6,414路



菊池伸浩 議員

と、私は考えています。2人のうち、1人は毎回と言えるほど、「異議申し立て」をしていた方で、開票立会人がいない方ですし、多く

立会人が附票（100枚ごとの票の束の表紙）に印を押す収となっていますから例外と考えます。

もう一人の方は、市議会議員を4期もやり、開票立会人もいて、印鑑も押しています。開票に異議を出す理由がないと、考えていました。開票結果に異議を申し立てたとすれば自分が依頼した開票立会人に失礼です。異議申し立ての内容について伺います。

また、選挙管理委員会の判断を伺います。

市長選挙での2氏の異議申し立て

答 総務部長 開票立会人が附票（100枚ごとの票の束の表紙）に印を押す意味は、立会人が開票結果の検査や確認に関与し、同意したことを意味します。回付の際異議や疑問がある場合、押印を拒否することも可能です。

異議申し立ての内容は、高橋氏は、「開票会場での撮影禁止や選挙立会人の職務執行」に関することです。榎戸氏は、「投票用紙の点検や選挙公報などの啓発」についてです。

12月5日の選挙管理委員会で、「当選を無効にする理由がない」として棄却しています。



3

みんなの声を市政に一般質問



林 悅子 議員

『さくらす』への市民要望

団体の活動等で大人数
が一度に料理すること
はできないのか。

設の基本方針をご理解いただきと共に、市民のプライバシー保護にも柔軟に対応してまいります。

市民音楽コンサートへの支援について

問 開放的、都会的
『さくらす』の
空間は、子育て世代や
学生などに好評な一方

悪いの声もある。市は市民の要望について把握しているか。

悪いの声もある。市は市民の要望について把握しているか。

問 1階の調理スペースがあるペースがある『クリエイティブハブ』の活用について、女性

答 ガラス張りの部屋には、プライバシー保護のロールバーで、カーテンなど必要と思ふがいかがか。
教育部长 「市民活動の境界をなくす」という施

イヘントなど女性団体の活動は、羽黒の農村環境改善センター、真壁伝承館、真壁福祉センターをご利用いたしています。

団体の活動等で大人数
が一度に料理すること
はできないのか。



審議された議案と結果 第4回定例会（12月9日～12月12日）

| 条例の制定・改正 | |
|---|----|
| 桜川市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例 | 可決 |
| 電気通信事業法及び日本電信電話株式会社等に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例 | 可決 |
| 桜川市手数料徴収条例の一部を改正する条例 | 可決 |
| 補正予算 | |
| 一般会計補正予算（第5号） | 可決 |
| 国民健康保険特別会計補正予算（第2号） | 可決 |
| 介護保険特別会計補正予算（第2号） | 可決 |
| 介護サービス事業特別会計補正予算（第2号） | 可決 |
| 水道事業会計補正予算（第3号） | 可決 |
| 下水道事業会計補正予算（第3号） | 可決 |

| 人事・その他 | |
|---|------|
| 選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について | 決定 |
| 監査委員の選任について | 同意 |
| 和解及び損害賠償の額を定めることの専決処分事項の報告について | 報告 |
| 財産の取得について (令和7年度桜川市立小中義務教育学校照明LED構築及び賃貸借) | 可決 |
| 指定管理者の指定について | 可決 |
| 指定管理者の指定について | 可決 |
| 桜川市道路線の廃止について | 可決 |
| 桜川市道路線の認定について | 可決 |
| 請願 | |
| 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願 | 採択 |
| 令和2年改正・公益通報者保護法に基づく『通報窓口設置』・『通報対応体制の確立』・『計画的な職員研修の実施』を桜川市行政に求める請願 | 趣旨採択 |
| 議員提出議案 | |
| 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書 | 可決 |



総務常任委員会視察研修レポート

委員長 飯島洋省

委 員 林 悅子・仁平 実・萩原 剛志

視察日 令和7年10月28日(火)～10月30日(木)

視察先 広島県 東広島市、大崎上島町、広島市

100% 再資源化を目指すごみ処理施設

東広島市の「広島中央エコパーク」を視察しました。ここでは、最新の溶融炉により可燃ごみを全て再資源化し、埋め立て処分は行っていません。燃焼熱を利用した全電力の自給や売電も行っている取り組みの一方で、再資源化にあたっては環境配慮に伴うコスト増が課題として共有されました。

また、剪定枝をチップ状に加工し燃料化する車両の無料貸し出しも行われているということでした。

脱炭素社会を拓く次世代のエネルギー

大崎上島町では「大崎クールジェン(株)」を訪問しました。石炭をガス化して高効率で発電し、従来型石炭火力発電よりCO₂を90%以上削減できるとともに、高濃度水素ガスを含む燃料ガスを生成し、これらを用いた複合発電を行っています。

将来の脱炭素社会の切り札とされる「水素」生成技術やCO₂貯留の重要性を確認し、本市でも共同宣言している「ゼロカーボンシティ」実現に向けた企業誘致や技術確立の必要性を実感しました。



(写真・上) 大崎上島町 大崎クールジェン

右奥に見えるのが酸素吹きの石炭ガス化炉。

(写真・右) 広島市中工場2階「エコリアム」は

Ecology+Atriumの造語のとおり

ゴミ処理施設とは思えない開放感。

見せる焼却場 広島市中工場

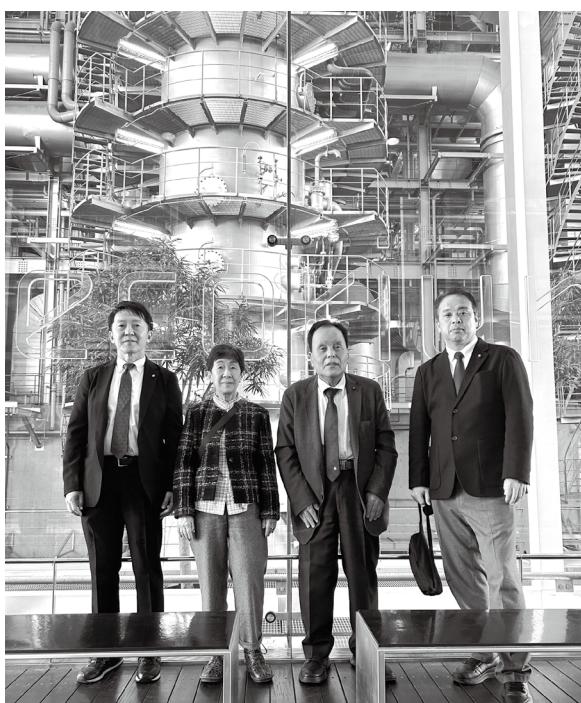
広島市の「中工場」では、複数の施設が連携して災害時でも安定稼働できる体制を学びました。広島市では7か国語対応のごみ分別チラシを作成し、市民のゴミ出しマナーと資源率向上に努めています。

全国的に問題になっているリチウムイオン電池の火災対策としても、市民への周知徹底に努めているとのことです。コストを抑えつつ、市民の協力のもとで高い資源化率を維持する手法は当市にとっても有益と考えます。

豪雨災害の教訓を次世代へつなぐ

「広島市豪雨災害伝承館」では、平成26年の甚大な被害と復興の歩みを調査しました。

被災地の復興整備の経緯に加え、心のケアにあたる専門チーム(DPAT)の活動や、教訓を風化させない展示のあり方を学びました。同館は「NIPPON防災資産」にも認定されています。



10月20日 長生都市広域市町村圏組合議会視察受け入れ



千葉県茂原市をはじめ、7市町で構成される長生都市広域市町村圏組合議会が、さくらがわ地域医療センターに視察に訪れました。

長生都市広域市町村圏組合議会が運営する「公立長生病院」の再編統合にあたり、公立・私立病院の再編統合を経験した桜川市の事例について、健康推進課から説明を受けました。

質疑応答では、病院再編統合に際して市民からどのような意見が出たのか、建設に係る財源について、旧病院に勤務していた職員の処遇についてなど、たくさんのご質問があり、研修後は病院内の見学を行いました。

11月17日 岩瀬小学校 町たんけん



岩瀬小学校の2年生7名が「町たんけん」の活動で桜川市役所岩瀬庁舎を訪れました。

議場では、市議会事務局の職員から議会について説明を受けながら、議長の席に座ったり、傍聴席を見学したりしました。

普段なかなか見ることのない議場に少し緊張しながらも、「議会は、1回でどのくらいの長さ話し合いをするのですか」などの質問がありました。

岩瀬小学校2年生のみなさん、またぜひ議会にいらしてください。

編集後記

明けまして、おめでとうございます。

今号は、去る12月定例会での各議員の一般質問を中心に、市民の皆様から関心の高いタクシー運賃助成についての議論の様子などをお伝えしました。

日頃、型苦しいイメージを持たれがちな議会ですが、実際には皆様の生活に直結する様々な課題が真剣に議論されています。広報誌を通じて、そうした議会の「今」をすこ

しでも身近に感じて頂ければ幸いです。

今後も「開かれた議会」を目指し、分かりやすく、親しみやすい紙面づくりに努めてまいります。皆様からのご意見・ご感想をお待ちしております。

これからも、皆様の益々のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

武井 久司

議会広報特別委員会

委員長 中田拓也 副委員長 武井久司
委員 林 悅子・菊池伸浩
飯島洋省・軽部 徹
発行責任者 議長 風野 和視

次の定例会は

3月3日(火)

**10時開会予定です。
みなさまの傍聴を
お待ちしています。**

議会日誌

11月

- 5～6日 県西市議会議長会定例会
- 8日 筑西広域市町村圏事務組合全員協議会
- 11日 茨城県市議会議長会
議員研修会
- 19日 筑西広域市町村圏事務組合定例会

12月

- 2日 総務常任委員会
- 3日 文教厚生常任委員会
建設経済常任委員会
- 4日 議会運営委員会
議会全員協議会
- 9～12日 第4回定例会
- 11日 総務常任委員会
文教厚生常任委員会

1月

- 15日 議会広報特別委員会
- 20日 ジオパーク6市議員連盟
協議会研修会
- 23日 茨城県市議会議長会定例会